ロッテ育成5位捕手

富山　会津北嶺

会津へ　両親へ　恩返しを

3年間鍛錬した福島でプロへの決意新た

ロッテから育成ドラフト5位で指名された会津北嶺高の富山紘之進捕手(18)が18日、会津若松市内のホテルで契約を結んだ。支度金300万円、年俸230万円（金額はいずれも推定）。契約後、会見に臨んだ富山は高校生活を送った会津へ、そして18年間育ててくれた両親への〝恩返し〟を誓った。

契約合意

体幹強化に着手

契約会見に臨んだ富山の表情は決意に満ちていた。「いよいよ始まるんだなという気持ちです」。初めてロッテのユニホームに袖を通し、榎康弘アマスカウトディレクター、担当の松田進スカウトと記念撮影。「縦じまのユニホームに憧れていたので、凄い格好よかった」と話し、球団から好物の菓子「パイの実」が贈られ、思わず頬を緩めた。

感謝の思いを胸に、プロでの活躍を誓う。「18年間、両親には支えてきてもらった。もっと成長して恩返ししたい」と富山。「（将来的には）車を買ってあげたい」と力を込めた。小学生の時から野球を始め、高校進学時には地元の大阪を離れて福島へ行くことを後押ししてくれた両親。この日、愛息の晴れ姿を見届けた父・紘行さん(45)は「小さい頃から野球に真摯（しんし）に取り組んできていたので、本人の夢がかなって本当に良かった」と笑みを浮かべた。

会津北嶺では1年春からベンチ入りした富山。今夏の福島大会は正捕手として初の4強入りに貢献し、創部6年目の同校にとって初のプロ野球選手になった。「活躍している姿を見せたいです」。3年間、技術を磨いてきた〝第2の故郷〟会津への思いも胸に、プロの世界へと羽ばたく。

現在はウエートトレーニングや体幹を鍛える練習に注力。「肩の強さを生かして、打率も残せる選手になりたい。まずは支配下を勝ち取ることが目標」。プロのスタートラインを見据え、心技体を磨き上げていく。（後藤　光志）

憧れ縦じまユニ「凄い格好よかった」

会見後、記念撮影に臨んだ（左から）松田スカウト、富山、榎アマスカウトディレクター　（左上）好物のパイの実に囲まれて笑顔　（左下）球団と来季の契約を結んだ富山（奥中央）